



島教協

# 《すべては「子どもたちのために」》 情 報

http://www.kyougikai.org

E-mail  
office@kyougikai.org

No.638

〒693-0011 出雲市大津町2214 Ⅱ/Fax:0853(22)7762 代表者 吉田 修 編集人 勝部功人



- 《 目指します 》
- ・ 県民の期待と信頼に応える職員団体を
  - ・ 提言活動を通して教育水準維持・向上を
  - ・ 教育専門職としての資質の向上を
  - ・ 組織の拡大・充実を図り、教育正常化を

## 島教協 第五十一回 定期総会開催

五月二十九日、ビッグハート出雲にて第51回島教協定期総会が開催された。二十二年度の活動報告と二十三年度の活動計画について審議され、承認を得た。

(詳細は、議案書参照)

吉田修会長からは、「組織拡大、要望活動の充実、研修活動の充実の3つを柱に活動を進める。どれも大切だが、組織拡大は喫緊の課題。組織が縮小してしまうと、あとの2つの柱も細くなってしまふ。会員の協力を重ねてお願いする。これからの教育はどうなるのか。県の財政状況や国の教育予算を見据えて、子どもたちのための要望活動や諸問題の解決のための活動を行っていただきたい。」と話があった。また、多忙化が進む中で今年度いっぱい続く県の6%特例減額についてもふれた。

※ 特例減額は今年度末まで。平成24年度以降については、まだ県からは明確に示されていない。また、国家公務員給与10%カットの報道を不安視する会員も多い。島教協は、今後も県の動勢を注視し、教育予算の充実とともに要望活動を続けていく。

## 全日教連 久保井規文委員長 中央情勢報告

島教協定期総会後、全日教連委員長 久保井規文氏による中央情勢報告が行われた。



・ 全国一斉学力調査中止  
9月下旬以降、希望校に無償で問題を配布するとの文科省方針。ただし、詳細はまだ決まっておらず、採点や分析を現場の教員がやらなければならないということも考えられる。

### ・ 教員免許更新制

失効者、全国で二十七名。形は多少変わるにしても、免許更新制は自分の間続くと予想される。受講予定者は、できるだけ早く講習を。

《全日教連の考え》十年の間にきちんと講習を受けた者は自動的に更新すべき。研修は、無料・職免で行うべき。

### ・ 協約締結権

総務省は、「協約締結権」を国家公務員に付与する方針。地方公務員についても同様の措置を検討。

全日教連は、子どもたちを置き去りにしてしまう協約締結権の付与等、労働基本権の回復について断固反対の立場。人事院勧告制度の維持を今後も強く要望する。

### ・ 柔軟な学級編成(平成二十四年四月施行)

市町村教委と校長の話し合いにより学級人数を決めることができる。但し、学校側に保護者への説明責任が生じる。

この他、東北地方への教職員派遣の現状と問題点について報告があった。

## 出教協 第六回定期総会 開催



五月二十一日（金）、ビッグハート出雲にて、出雲市教職員協議会の第六回定期総会が開催された。

冒頭、曾田史郎執行委員長から、「増やそう仲間一人でも！子どもたちのためにのスローガンのもと、みなさんと一緒に活動を盛り上げていきたいと思いません。ご協力をよろしくお願います。」と挨拶があった。その後、二十二年度決算と二十三年度の活動計画、予算について審議が行われ、承認を得た。

また、十月一日の市町合併に向けて、出教協と斐川教協の合併に伴う組織の諸問題について説明があり、方向性の確認がなされた。両教協の合併は、平成二十四年四月の予定。

## 祝！新規加入

遠藤愛子さん (四絡幼)  
古川清香さん (平田幼)  
大國 茜さん (中央幼・保)  
柿本菜津実さん (中央幼・保)

魅力ある組織づくりが、新規加入者を増やしていくことにつながると考え、日々努力しているところです。会員の皆様、隣の方への声かけからお願いいたします。

Welcome

## 第一回 教育講演会



出教協定期総会後、「命の授業」の腰塚勇人を迎えて教育講演会が行われた。頸椎骨折、下半身麻痺からの奇跡的な回復で職場（中学校）復帰をはたされた体験談はもちろん、腰塚氏の人柄に多くの参加者が感銘を受けた。参加者アンケートの多くに、「五つの誓いを心がけたい、教室に掲示したい。」との回答があった。

### 《五つの誓い》

- 「口」は…：人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう…
- 「耳」は…：人の言葉を聴いてあげるために使おう…
- 「目」は…：人のよいところを見るために使おう…
- 「手足」は…：人を助けるために使おう…
- 「心」は…：人の痛みがわかるために使おう…

## 東日本大震災に義援金

今回の大震災で亡くなられた多くの方々に対し、心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致しますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

島教協は、役員会において協議を行い、基金積立金の中から義援金3万円を、日本赤十字社島根県支部を通して寄付いたしました。

会員の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますよう宜しくお願い申し上げます。